



2025年5月14日

各 位

会社名 株式会社サンゲツ
代表者名 代表取締役社長 執行役員 近藤 康正
(コード番号 8130 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 執行役員コーポレート部門 牧 繁 伸
ゼネラルマネージャー
(TEL. 052-564-3314)

中期経営計画の目標見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表しました中期経営計画(2023-2025)【BX 2025】の最終年度となる2026年3月期の定量目標の一部を下記の通り見直すことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 見直しの内容

2026年3月期 業績目標	修正前	修正後
① 連結売上高	1,950億円	2,100億円
② 連結営業利益	205億円	190億円
③ 連結当期純利益	145億円	130億円
④ ROE	14.0%	11.5%
⑤ ROIC	14.0%	14.0%
⑥ CCC	65日	70日

2. 見直しの理由

当社は、2030年に目指す姿を「スペースクリエーション企業」と定め、不透明かつ急激な変化が続く環境下、持続的かつ長期的な企業価値の向上を実現するために、2026年3月期をターゲットとする中期経営計画(2023-2025)【BX 2025】に基づく成長戦略の実行を進めてまいりました。

この2カ年の進捗において、国内インテリアセグメントでは、新設住宅着工戸数の低迷をはじめとする厳しい市場環境に加え、業界全体における労務費・物流コストの上昇や原材料価格の高止まり等が継続する中で、さまざまな機能強化策や営業戦略等を通じて、収益とシェアの拡大を実現しました。一方、足元では2024年12月下旬に発生した当社仕入先における工場火災が一部床材の供給に影響を与えており、これが業績に与える影響は不透明な状況です。また、国内エクステリアセグメントおよび海外セグメントにおいては、成長に向けた拠点整備や人材拡充等さまざまな施策を打ちながらも、収益基盤の構築は依然として不十分であり、中期経営計画策定時の収益には結びついておりません。

このような状況を踏まえ、本中期経営計画の最終年度である2026年3月期の業績目標の見直しを行うこととしました。

なお、その他の本中期経営計画に掲げる目標（社会価値における定量目標等）に変更は
ございません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実
な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後さまざ
まな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上